

2024年(R5年)



No. 378

# WORLD JOURNAL

(題字: 三井 裕森)



社会福祉法人 ひとほ福祉会  
〒739-1203  
広島県安芸高田市向原町長田1857番地  
TEL(0826)46-2960 FAX(0826)46-4355

(ホムアド) http://hitoha-fukushi.com (メルアド) honbu@hitoha-fukushi.com

食堂から眺める風景は季節の流れを私たちに教えてくれます。ひとほガーデンの木々が紅葉し始めました。みなさんお変わりありませんか。

去る10月28日、4年ぶりに地域の方たちと一緒に開催した「ひとほまつり」(※小規模での開催)。やはりみんなが集うと楽しさも倍増します。今回のテーマは

『文尚さん、おーい聴こえますか』

「ザ・わたしたち」による一周忌追悼コンサートも企画しました。菅田さんが言いました。

「文尚さん、空からみてるよ。」きっと私たちの思いが届いていると思います。

一年前から文尚さんの「遺稿集」の編集を進めてきました。その中で、わかったことがあります。

一つは、ひとほ館の壁に掲げている「ここはひとほの里」の字を書いた人が、社会福祉

法人交響の阿部倫久さんだということ。もう一つ、文尚さんはどうして最後までぶれること

なく障害のある人、いや生きづらさを抱えている人と共に生きることが出来たのか。それ

はここに「ひとほ」があったからだということ。私なりの解釈ではありますが、文尚さんとは30年

余り付き合いがあったのに、やはり今、遺稿集の編集を終えてわかったんです...

11月中旬には、みなさまに寺尾文尚遺稿集『自生』をお届けいたします。

これからもひとほの発信を大切にしたいと思っています。

(ひとほ工房 伊藤 千代子)

コロナ禍においてポストへの投函としておりましたが、「〇〇さん」と呼び合えるような関係を築きたく、12月号の配達分エソジナルを手渡しに戻させていただきます。感染症が収束したわけではありませんので、引き続きポストへの投函をご希望でしたら、配達の際にお申し付けください。(編集委員 竹内 宏美)

## 神田邸完成!

これまでグループホームとして使わせていただいた的場邸から新たな建物へ引っ越し。移転した場所の正式な地名は向原町長田字神田であることから、神田邸と名付けることになりました。移転場所は共同ホームの裏手です。

## 新谷さん

西本邸だったら坂あがらんといいけんけえね。今度はあがらんけえ、えーわ。電車の音が小さくなった。前は(西本邸は)うるさかった。食事の当番がある。米研いだり。あっぷでもしよるけどね。腰が痛いんよ。いつになったら楽できるんか思うんよ。[新谷さんは73歳になられ、98歳のお母さんのいる自宅に週末帰宅し気遣われています。]

## 山野さん

(的場邸を)引っ越した後に挨拶に行ったら、電気がついてないけー寂しいと重村さんが話しちゃったですよ。向原の図書館が遠くなりましたね。CDを借ります。

## 次郎水さん

長田6区の人たちに挨拶回りしようと思ってます。掃除当番も今までは誰かがやるだろうとなっていたけど、一人増えたから当番制でしようとなった。1か月やってみて、また話し合いをするんです。

(引っ越しは)ゴミがおよかった(多かった)。雑誌を捨てました。新しい部屋は物がかけれる所が使いやすい。洗濯物とかかけます。

## 亀さん

電気代が高騰しよるんで、意識するようになりました。電気止まったらお風呂入れんので。できる限り節電するようにしてます。今までやってなかったことするようになりましたよ。水の出しっぱなししないとか。引っ越しの大変さがわかりました。

「うれしい知らせ」

去年私が初めて個別療育で入らせてもらったYさん。慣れるまでは少し“ツンツ”とした態度の時もあったけど、得意なアイロンビーズを何度も一緒にしたり、送迎の時間を過ごすうちに、よく話し少しずつ笑顔が見られるようになった。しかし今年に入り私の勤務日とYさんが来る曜日が違って全く合わなくなり…。すると先日、送迎をしているスタッフから「Yさんが菅原さんに会いたって言ったよ」となんともうれしい報告が！勤務を確かめるとなんと会える日があることが判明！彼女の言葉にテレビな私は、その日までわが子の体調管理を厳しくするのである。

(ぴあ・くらぶ 菅原 陽子)

「何事も一生懸命！」

山下さんが所属しているアグリサポートはカ仕事メインの仕事ですので、筋肉質なんです。人一倍に頑張り屋の山下さん！もみ殻をポリバケツにこんもりと入れて運びます。こぼれて服が汚れてしまうこともあるので、減らして運ぶよう提案すると、すぐに直して作業をするものの「わたしは人一倍、仕事をする」と言わんばかりに、数分後にはニヤニヤともみ殻を“富士山の如く”入れて持ち運ぶ、そんなお茶目な一面もあります。山下さんを見ると、一生懸命という言葉が似合う方で、私は久しくその言葉を使わなくなっていたんですが、山下さんと出会い、一緒に作業をすることで、一生懸命に過ごすことの大事さに気付かされました。

(就労センター あっぷ 井上 大輔)

スタッフ紹介

名前 田中 快斗

所属 共同ホームひとは

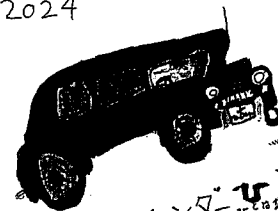
ふいてわいた3000円。使うなら何？

ぽーっと飲みに行きます！  
お誘いお待ちしております！

ひとはカレンダー 2024 できました！

たくさんのきららの表現が詰まった、B4壁掛けタイプ、日曜日始まるカレンダーです。1部1500円(税込)。ご注文は お電話にて [ひとは工房 0826-46-3757] 承ります。

ひとは  
カレンダー  
2024



ひとはカレンダー 2024  
ひとは工房 0826-46-3757

※表紙

令和元年度 ひびきあう改訂版

「日帰り旅行」

矢口 詠依子

とどろきあう

(字三上潤子)

作業所でドタバタしていた頃の日帰り旅行での話。道中で足湯をし、旅館で貸し切り状態の温泉に末田さんと二人でつかり、豪華な昼食を食べ、お土産を思い思いに買って上野さんの大量購入に焦り…と、ここまでは楽しいだけの旅行。私のところに残り過ぎていたのは、帰りの道中。ガタンゴトンガタンゴトン「うああ～ああ～！」ガタンゴトンガタンゴトン「ああ～～～ああ～」電車移動に大声を出し始めた斉藤さん。シーンとした車内に電車の音と斉藤さんの声がひびく中、「わーわーわーわーうるさいの！」と男性の怒鳴り声。すかさず「しょうがないじゃない！」と女性の大声。そして「すみません」と謝る職員の小さな声。

それ以降の当日の記憶は私の中から消えている。「うるさい」「しょうがない」これだけは、はっきりと覚えているのに…。障がいについて知らない、興味ないという方は大勢います。そんな人たちが非情な言葉を投げつけます。私は何年経った今でも、「うるさい」「しょうがない」こんな単純な言葉たちに返す言葉を見つけれません。「お前の方がうるさい」「しょうがないってなんや」とか「彼はこうやって気持ち落ち着かせようとしている。大きな声は迷惑をかけると思うが見守ってほしい。」「しょうがない？かばってくれようとする姿勢は嬉しいが、あきらめ発言のようで一番ダメージを受けた。」家族に話しても「うるさければ、うるさいと思うし言うよ」と言う。せめて家族にだけは「ああ、その人はしんどかったんじゃないか」と思っしてほしい。そんなわけで、まずは自分の家族から、障がいに理解ある人たちを増やしていきたいと思う。もちろん、思うことはカンタン。とりあえずひと頑張りしようと思えます。まずは自分が勉強せねば。

編集後記

週末になると、窓の外から花火の音がよく聞こえるようになった。お昼過ぎには保育園の中帽子をかぶった子どもを連れ家族連れが歩いていて、運動会があったのと分かり見かけたこちらまで微笑ましい気持ちになる。また次の週末にはおみこしと太鼓の音が。つい先日旅行に出かけたが、そこでも街頭パレードや映画祭が行われていた。そんな中私は母とミュージカルの観劇へ。いろんな秋が街中にある。 (白井くみこ)